



# 値小だより

島から日本一楽しい学校を  
～子どもが未来に誇れる学校～

平成28年4月11日 第1号

校長 酒井 元治

## 島から日本一楽しい学校を

7年ぶりの小値賀です。大好きな小値賀に校長として帰ってきました酒井です。平成17年度、18年度に斑小学校に最後の教頭として赴任、斑小学校閉校後、20年度までの2年間を大島分校教頭として勤めました。豊かな自然と人情味あふれる、挨拶がすばらしい、そして、日々飲み明かした小値賀のことは、佐世保にもどっても様々な機会にこの島の良さ、温かさを口にしていたものです。その小値賀にまたこうして赴任させていただけるなんて、なんともすてきな縁を感じます。

来島してすぐにいろいろなところを回りました。斑小学校には、閉校記念に植樹した7本の桜がしっかりと根を下ろし、数輪の花を咲かせていました。相も変わらずお元気で、情の厚い方々にもたくさん会いました。私が今回住むことになった丘町の住宅には、なんと私自身が11年前に持ち込んだ冷蔵庫と洗濯機が待っていてくれました。見るもの、聞くもの懐かしいやら、びっくりやら。

その中でも、何と言ってもびっくりしたのはこの校舎！きれいで、よく考えられた、すばらしい校舎はこれまで見てきた学校の中ではナンバー1でした。おおよそ長崎県1のすばらしさではないかと思えます。前回私がいたときには、青写真もはっきりしていなかった校舎がこうやって現実になっていようとは…。小値賀のみなさんの「島の子どもは島で育てる。」といった強い思いを



感じました。子どもたちの未来にける並々ならぬ思いを感じました。

私の思い出話はこれぐらいにして、このすばらしい校舎の中でめざすのは「**日本一楽しい学校**」です。何を基準に「日本一」なのか？子どもたちが「ぼくの学校、私の学校、日本一」と自慢ができる学校にしたいと思います。子どもたちが**大人になった未来で誇れる学校**をめざします。

大人になった子どもたちがこの地を離れたとき、「**ぼくの学校、私の学校は、最高の学校だったよ。最高の仲間がいて、こんなおもしろい先生がいて、そして何より最高に温かい地域に包まれた日本一楽しい学校だったよ。**」と未来で誇れる、そして、この子たちの一人でも多くがこの小値賀の未来を担うために帰ってくる、そんな学校をめざします。

## 始業式で

28年度最初の始業式では次のような話をしました。

### 1 新しい年度とは？

新しい友達が来る。新しい先生が来る。そして、新しい学年になる。

2年生は新入生が入ってきてお兄ちゃん、お姉ちゃんとしての役目が出てくる。

3年生は、理科や社会といった新しい勉強が始まる。

4年生は、クラブ活動が始まり、委員会活動では学校全体のために働くことが出てくる。

6年生は、文字通り学校のリーダー。この学校の伝統を引継ぎ、新たな伝統をつくっていくのも6年生。伝統とはどんなものなのか考えてみよう。

5年生は、6年生のサポート役。6年生とともにこの学校をつくっていく大切な役目。5年生のサポートがないと6年生はリーダーとしての仕事ができない。

(裏面に続く)



## 2 「日本一楽しい学校」をつくるためには

前述したように、小値賀小は県内360ほどある小学校の中でもたぐいまれなすばらしい校舎。その中でめざすのは、「長崎一」ではなく、「日本一楽しい学校」。みなさんが自慢できる学校。何を自慢するか？

○仲間が自慢できること

○先生が自慢できること

(この部分は私たち教師の努力が必要。このことも子どもたちに伝えました。)

○小値賀が自慢できること

その中でみなさんに頑張ってもらいたいこと

### ① 静かにするところ、元気よくするところ、 その中でしっかり勉強

教室の移動、集会で待つとき、掃除、授業中考える時間、楽しい学校づくりには静かな時間と落ち着きが必要。



### ② 友達のいいところを見つけられる人になること

自慢できる仲間づくりには、人を認めること、人に認められることが必要。  
けんかしても仲直りできること。人を許せること。



### ③ 感謝できる人になろう

みなさんの周りには、みなさんのためにいろいろなことをやっている人がいる。給食の調理員さん、用務員さん、事務の先生、そして、小値賀の人たち。何をしてくださっているかを見つけ感謝できる人になろう。  
みなさんは、大人になるための練習をしている。しっかりした大人になるためには、言葉遣いも必要。目上の人に「タメ口」はダメ。「感謝できる人」にはつながらない。

## 3 ここまで話して担任発表。

「みなさんといっしょに日本一楽しい学をつくる先生を紹介します。」と言った後、大画面で担任の先生を紹介しました。

終わりに、「みんなで日本一楽しい学校をつくっていきましょう。」というと、みんな声に合わせて元気よく「はい！」という返事が返ってきました。この1年がとても楽しみです。

## 日本一楽しい学校をつくる職員の紹介

### 小値賀小学校

1年1組	久米 琢	2年1組	原野 愛子
3年1組	長谷川 恵子	4年1組	宮崎 浩二
5年1組	千葉 秀紀	6年1組	茂山 康代
ひまわり	川原 秋子	4~6年理科	松田 健之
養護教諭	竹添 明日香	栄養教諭	近藤 けい子
事務主査	渡部 宣昭	用務員	田頭 さおり
教頭 3~6書写	橋本 淳	校長 草刈り他	酒井 元治

### 小値賀中・北松西校からの乗り入れ

5・6年 音楽	平井 春那 (小値賀中より)	全学年 外国語	Karina L Martin (北松西校より)
------------	-------------------	------------	-----------------------------

### 大島分校

1・2年	斉藤 祐三	6年	濱田 順子
養護教諭	神川 美代子	教頭 (理科・書写・図工)	柴田 泰徳



## 12名の入学です

7日(木)、小値賀小10名、大島分校2名のぴかぴかの1年生を迎え入学式を行いました。式では、やはり「日本一楽しい学校」にするために1年生にがんばってもらうこと。

- ① 毎日安全に学校に来て、楽しい思い出をいっぱいランドセルにつめて帰ること。
  - ② 立派で、格好いいお兄ちゃん、お姉ちゃんになるために自分でできることを増やすこと。
  - ③ 友だちを許せる人になること。
- を話しました。翌日、8日(金)1年生の下校の時に、「今日は学校楽しかった？」と聞くと、ある子は「楽しいに決まってるじゃあない！」と返事。何とも嬉しい反応です。